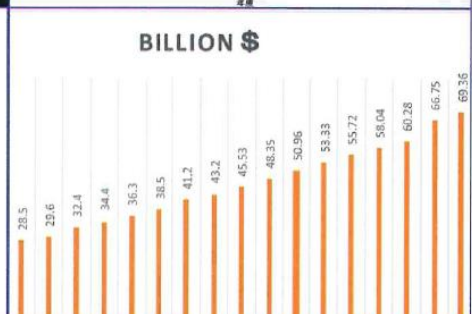
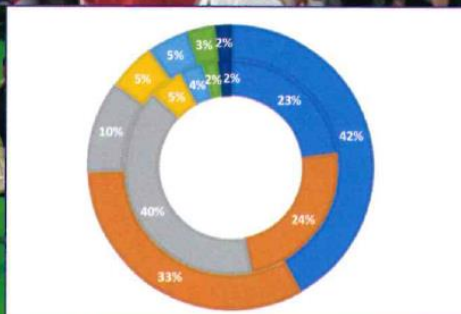
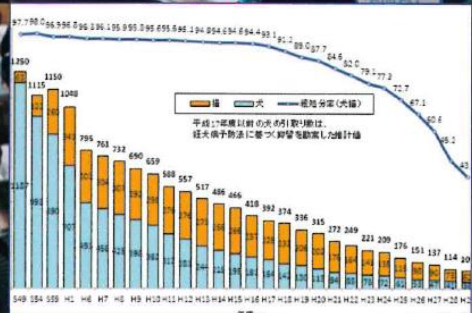


# PETPAGE



**ZOOMARK 2019**  
INTERNATIONAL  
6.5 → 9.5 / 2019  
BOLOGNA FIERE



# 2019

有限会社 動物の企画社

ZOOMARK 2019 6/9 MAY BOLOGNA FIERE



ZOOMARK 2019 INTERNATIONAL

ZOOMARK INTERNATIONAL 2019  
5/6-9 イタリア・ボローニャで開催  
会場 BolognaFiere



# ZOOMARK 2019

I N T E R N A T I O N A L



ZOOMARK INTERNATIONAL 2019は、5月6日(月)から5月9日(木)イタリア・BolognaFiereで開催される。これまでの週末から平日開催への変更は、Zoomarkが来場者と出展者を対象に実施した調査に基づいたもので、その目的は2017年の来場者数、27,000人の来場者のうち3分の1が海外からだった。



Zoomark2019は、25と26のホールに28、29と30の新しいホールが加わり、さらに10%の展示スペースが増える。

BolognaFiereのセールスディレクターであるMarco Momoli氏は、次のように述べている。「私たちは月曜日から木曜日の形式に切り替えて、週中に出張することを好む主要な国際的なバイヤーのニーズに応えました。月曜日は伝統的にお店の閉店日でもあります。私たちは、ホテルの宿泊施設やイベントへの参加



14 petpage 2019.1月



だけでなく、ボローニャへの訪問も含むバイヤーやビジターのためのパッケージを作成することを考えています。会場となるボローニャは、多くの文化的なアトラクション、素晴らしい料理と素晴らしいエンターテインメントを提供する美しい街です。」

Zoomark Internationalはモスクワと広東での1年間の国際的な展開の後に開催を迎えるという。そこでZoomarkは、極東の全域に及ぶロシアおよび中国の主要企業にアプローチしており、今後発展が見込まれる意欲的なイタリアおよび国際企業が出展する。

「Zoomarkは規模と国際的な存在感を増しており、出展者と1対1の関係を築き、準備のすべての段階を通して常に出展者との良好な関係を保っています。」

ZOOMARK 2019 6/9 MAY  
BOLOGNAFIERE



ZOOMARK 2019  
I N T E R N A T I O N A L

バイヤーとビジターの来場が最優先事項で、出展者リストは近くオンラインで公開される。国または製品カテゴリーによって会社を選択することのオプション。各出展者について、新製品に特に焦点を当てて、会社に関する情報（イタリア語と英語）が紹介される。

## 2018年のASSALCO-ZOOMARKによる ペットフードとケアに関する報告書の要約

ペットフードとペットケア関連企業のためのイタリアの全国組織であるASSALCOから、BolognaFiereで開催されるZoomark International 2019で、2018年の市場動向をカバーする2019年のAssalco-Zoomarkレポートが発表される。

### ペットの社会的役割に対する意識が高まって

レポートでは、イタリアでペットが果たす役割の重要性が高まっていることを記録した市場動向と社会的・制度的発展の歴史が紹介されている。それは科学的証拠、研究および専門家の協力（Centro Studi Sintesi、IRI情報資源およびイタリア国立獣医協会-ANMVIを含む）によって、主要な業界関係者と共同してまとめられた。

報告書から明らかになったのは、イタリアは動物への関係で最も「ペットに優しい」国の1つであるということ。またイタリアの世論では、ペットは、家族の一員だけでなくコミュニティのメンバーとして、ペットの社会的役割に対する意識が高まっており、人々はより優れた制度的および法的承認の必要性を認識している。

米国といくつかのヨーロッパの共同体で行われた国際的な調査によると、イタリア人の67%が少なくとも1匹のペットと一緒に暮らしている。チェコ共和国とフランスは65%。イタリアは、人口に対するペットの数の割合も、1対1の比率で、ヨーロッパで第1位の国と推定されている。魚を除き、犬、猫、鳥、小動物、爬虫類のいずれかを飼っている人は国民100人に対して、イタリアは50.3人、フランス46.5人、ポーランド41人、スペイン40.2人、ドイツ39.8人、イギリス30.3人。

「イタリア人の動物に対する愛情は、他の側面からも明らかです。確かに有名な旅行サイトによって作成された「ペットに優しい」国のスコアボードでは、イタリアはフランスとドイツに続いてヨーロッパで3位にランクされています。」このサイトでは、ペットの公共交通機関、ショップ、レストランへのアクセス可能性が検討された。

まだペットの「住民登録」は行われていないが、イタ

リアのペットの数は、Euromonitorの最新のデータでは、60,400,000匹となっている。中でも観賞魚は最大のカテゴリーだという。その数は約3,000万と、イタリアで飼われているペットの総数の約半分を占めている。魚に続いて小鳥（1,300万弱）、猫（750万）、犬（約700万）、そして小型小動物と爬虫類（300万）が続く。

最近のペットと一緒に暮らす人々に対するEurispesの調査では、インタビューを受けた人の53.5%は、かなりの金額をペットの飼育に費やしていると述べている。同じように、回答者の46.2%が、ペットと一緒に休暇を楽しむ（ウォーキング、遊び、野外活動等）と回答した。インタビューを受けた人の約58%が、ペットに毎月最大50ユーロを費やし、30%以上が50~100ユーロを費やしたと回答した。

### イタリアの65歳以上の年齢層の人々に

### 飼育されているペットの数は特別な注意に値する

2人の年金受給者のうち1人がペットを飼っている。Federanzianiによる最新の調査によると、高齢者が所有するペットの割合は、2015年の39%から55%に上昇した。回答者の51.6%が犬を飼っているが、33.3%は猫を飼っている。犬の飼い主の80%が毎日犬を連れ出していて、猫の飼い主の71.2%は猫と毎日遊んでいる。これに加えて、65歳以上の人々は自分のペットだけでなく、家族や友人のペットの世話をしている。これは回答者の66.7%に該当する状況。

最後に、ペットフードとペットの世話のための月額費用は、2人に1人の高齢者が家計にかなり依存しているにもかかわらず、78%がペットの健康と幸せが不可欠であると考えている。

動物福祉は、政治がもっと注意を払うにべきと高齢者が感じている（仕事と健康に次いで）3番目に重要な問題であった。過去5年間にすべての政党の政治家がペットに関する法律の提案を月に1回の割合で提出している。2008~2013年の5年間に記録された22のプロジェクトと比較して、2013~2018年の議会期間には、ペットに関する問題について58の要望が提示された。まだこれらのどれも承認されていないが、これらの法案は、ペットの保護、経済的利益、非捕獲および親権の問題、日常生活の向上、住民登録の導入、憲法上のペットの衆生としての認識など、さまざまなトピックを取り上げている。

取材協力・資料・写真提供：Zoomark International

petpage 2019.1月 15

ZOOMARK 2019 6/9 MAY BOLOGNAFIERE

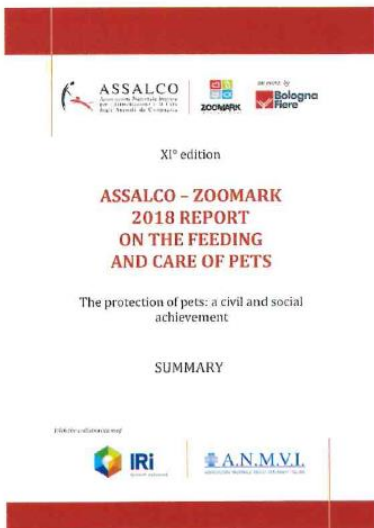


ZOOMARK 2019  
INTERNATIONAL

## ZOOMARK INTERNATIONAL 2019公開資料 Assalco-Zoomarkレポート ～詳細編～

はじめに

ーペットフードとペットケアに関するASSALCO - ZOOMARK 2018レポートの作成には、Centro Studi Sintesi、IRI Information Resources、およびイタリア獣医師協会（ANMVI）が協力しました。このレポートは、ペットフードおよびペットケア業界を毎年調査したもので、市場の進化と社会および制度的分野における新しい側面の評価を通して、イタリアでペットの重要性が増していることを文書化した年次要約です。このレポートは、この分野の主要な人々によって共同で作成され、科学的証拠、研究および専門家からの資料によって裏付けられています。



このレポートは、この分野の主要な人々によって共同で作成され、科学的証拠、研究および専門家からの資料によって裏付けられています。

### ペットのび社会的成果(意義)

ペットが私たちの家族の一員として認識されるだけでなく、私たちのコミュニティの一員としても認識されていることは今日の常識です。イタリアの世論では、ペットの社会的役割に対する意識の高まりと、制度的および法的なレベルでのペットの認知度の向上が必要とされています。政府機関による法律の制定、構造改革、システム開発および実施について、これらの集成的ニーズはまだ完全には解釈されていませんが、いくつかの政党ならびに権威ある政府機関および協会がこの問題に焦点を合わせ始めています。

### 教育機関と社会の側面

イタリア人は世界で最もペットに優しい人々です。

22カ国に関する国際調査によると、イタリア人の67%が、少なくとも1匹のペットと同居していたと述べ

ました。アメリカとヨーロッパの最も重要な国々からのデータを検討すると、イタリアはアメリカとポーランドの70%の次に位置します。

さらに、人口に対してペットの飼育数において、イタリアはヨーロッパ諸国の中で一番多いと推定されます。魚を除き、猫、犬、鳥、小型哺乳動物、爬虫類の総数を考えると、イタリアには100人の住民あたり50.3匹のペットが飼育されています。イタリアの第1位に次いで、フランス（46.5）、ポーランド（41）、スペイン（40.2）、ドイツ（39.8）、イギリス（30.3）。

イタリア人の動物に対する愛情は他の側面からも見ることができます。事実、よく知られている旅行ポータルで作成された「ペットに優しい」国のランキングは、

- |    |  |          |    |  |             |
|----|--|----------|----|--|-------------|
| 1. |  | Francia  | 5. |  | Olanda      |
| 2. |  | Germania | 6. |  | Irlanda     |
| 3. |  | Italia   | 7. |  | Regno Unito |
| 4. |  | Svizzera | 8. |  | Norvegia    |

イタリアはヨーロッパでフランスとドイツに次いで3位にしています。この調査では、ペットに優しい公共交

通機関、ペットの同伴を許可する店舗およびレストランを評価しました。

[表：1.フランス2.ドイツ3.イタリア4.スイス  
5.オランダ6.アイルランド7.イギリス8.ノルウェー]

### ペットはイタリア人家族の正当な一員…

Euromonitorの最新のデータによると、イタリアには60,400,000匹のペットが飼育されています。

ペットは現在イタリアの家族のメンバーであり、そしてこの状況は家族の活動と経費の管理に関する多くの指標に反映されています。

生活におけるペットのポジションは、もはや家族や家庭の中に限られたものではなく、あちこちのコミュニティの場でも認識されています。ほんの数年前にはペットの同行が考えられなかった場所であっても、その必要性が生まれ、それを望む声はさらに増えています。多くの事例を考えてみましょう

イタリアの企業は、近年、従業員が彼らの4本足の友達をオフィスに連れて行くことを許可しています。その実現に向けて現在、いくつかの官庁でもテストされています。

同時に、ペットケア施設の数是国内で増加しています（過去5年間で+ 43.7%）。これらの新しいサービス



は、ペットへの重点的な取り組みに適応したオファーを示しています。例えば、ペットを休暇中に連れて行けない場合、ペットの給餌と世話をしてくれる安心できる専門の施設に預けます。これはペットが家族と一緒に旅行しないという意味ではありません。イタリアでは毎年少なくとも700万人のペットを同伴して旅行しており、観光業界には十分なオファーが集まっています。最もペットに優しいリゾートのランキングをまとめたKayakポータルによる分析は、ペットを許可するホテルの割合が非常に高いことを示しています。アドリア海岸のいくつかのリゾートタウンでは90%以上の割合です。

たとえば、Misano AdriaticoとBellariaのホテルの92%がペットを歓迎しています。

### ペットと年配者：2人に1人の高齢者が ペットを飼っています

イタリアで65歳以上の人々が所有するペットの数が増えれば、より精度の高い分析値になります。

FederanzianiとANMVI1による最新の調査によると、高齢者が所有するペットの割合は、2015年に記録された39%に対して55%に上昇しました。そのうち犬は51.6%です。これら的高齢者の80%が毎日散歩のために犬を連れ出し、71.8%が猫と同居して毎日遊んでいます。65歳以上のは66.7%の人々は自分のペットだけでなく、家族や友達のペットも大切にしています。

ペットフードとペットの世話のための月額費用は、2人に1人の高齢者が家計にかなり依存しているにもかかわらず、78%がペットの健康と幸せが不可欠であると考えています。動物の保護に対して高齢者は、雇用と安全の次に重要な問題としています。

### 国民が望んでいることも 制度として実行することの難しさ

国内の議会議員が月に1つのペットに関する法案を提示しました。2008年から2013年までの5年間に提出された22件の法案と比較して、前回の議会（2013年 - 2018年）では、ペットに関連する問題に関して58件の法案が提出されました。この問題が国民にとって重要であるにもかかわらず、残念ながら、これらの法案の大部分、議論は始まっていません。

これらの法案は、ペットの保護、経済的利益、不親権の問題など、広範囲に取り上げられています。

### 【法案例】

ペットの保護（動物に対する罪、虐待、放棄）  
経済的メリット  
捕獲および親権（捕獲の禁止、親権）  
ペットの住民登録（戸籍）  
緊急時の管理  
ペット療法  
ペットに関する総合的なドラフト法  
一等々。

しかし、注力すべき優先事項は、これらの法案を、イタリアで最も権威のある人達や団体が見直すことです。これらの優先事項は6つのポイントに要約されます（ここでは順不同）。

#### 1. 犬と猫の住民登録（戸籍）の作成

これは主に人々をより責任あるものにするプロセスにおいて、行方不明のペットを追跡すること、そして野良動物の個体数を減らすためのペットを放棄する対策に有用なツールとなるでしょう。

2017年にはすでに、厚生省は2018年のガイドラインの目的の中に、所有権の移管、住所の移転、紛失、死亡などのさまざまな情報を追跡するペット用の集中データベースの作成を含めました。

#### 2. ペットの飼育費に対するVAT税の減額

イタリアでは、獣医サービス、ペットのための薬品や食料品に対するVAT税率は22%で、ヨーロッパで最も高い水準にあります。主要な団体が最近その削減を求めるキャンペーンを始めました。

#### 3. 飼い主の家族ステータス証明書にペットを含める

これは多くの研究に対する提案の主題であり、それは現在の状況を反映しています。ペットとその家族の間の絆を定義するために、「所有」よりもむしろ「養子縁組」の方が適切です。家族の身分証明書にペットを含めると、この関係が明確になります。

#### 4. イタリア人口の国勢調査にペットを含める

国民登録の作成および家族の身分証明書へのペットの挿入と一緒に、国勢調査にペットを含めることで、最も重要なペットに関する社会的現象の公式な評価が得られるでしょう。多くの人々が、イタリアの人口センサス調査票に世帯やペットを調査する項目を追加することを歓迎します。



5. イタリア憲法において動物保護の原則を提起するこの要求は、ペットの存在意義の認識を高めます。それは私たちの国の機敏さと進歩のしるしです。動物保護の規制と法律を承認することで、イタリアはオーストリア、ドイツとスイスのようなこの特定の分野における最も先進的な国と連携することになるでしょう。

6. 交通手段や公共の場所へのアクセス(ペット同伴)に関する国家レベルでの標準法の導入

イタリアの法律は非常に細分化されています。交通手段や公共の場所へのアクセスに関する標準法の導入は、日常生活の質を向上させ、管理面を含めてお互いに恩恵を受けます。

そのためにペットは体調を整え、健康で適切な教育(しつけ・訓練)を受けていなければならない、ペットは衛生面、社交的交流など必要なものをすべて満たすことになるでしょう。

### ペットから得られる健康上の利点の科学的証拠 —いくつかのアイデア—

ペットは私達とふれ合うだけではありません。ペットは人々の健康維持のために貢献することのほか、ペットとの生活は多くの点で私たちの健康に良いことが示されています。2017年のGFKの調査によると、家族、友人、ペットと過ごす時間が、イタリア人の主な5つの活動の1つであることが明らかになりました。

さらに、ペットの存在が、今日の社会によって引き起こされるストレスや不安の低減、さらには血圧の低下や心臓発作や脳卒中のリスクの軽減に対処するのに役立つことをいくつかの国際的な研究が示しています。今日、ペットが子供や10代の若者のストレスと闘うための貴重な支援を提供できることを示す多くの証拠もあります。

健康上の利点はたくさんあります。事実、2017年にスウェーデンで発表された研究によると、Scientific Reportsポータルでは、犬を飼っている人は寿命が長いとされています。

ペットは精神衛生管理にも大きく貢献します。例えば、動物との相互作用によって自閉症スペクトラム障害(ASD)を持つ人々を助けます。

科学的な研究が、しばしば人間と動物の相互作用と健康的な老化との関連を示します。別の研究では、ペットへの強い愛着が高齢者のうつ病の減少と関連していることを示しています。オーストラリアの研究では、犬と接

した人々の疲労、緊張、および鬱病の減少が報告されています。

### 介助動物およびリハビリテーション過程における ペットの活用

盲導犬などの介助動物も重要な役割を果たしています。最近では、糖尿病の人々に、ペットが貴重な効果を提供できることを示しています。その研究は、患者の汗や唾液に含まれている血糖値の変化を特定するものです。ペットが糖尿病患者の命を救うためのキットになることさえ考えられます。

病院や介護施設から刑務所まで、さまざまなリハビリテーションの過程や場所で使用されているペットも増えています。ペットはいじめやサイバーいじめの被害者である子供たちを助けるための治療にも使用されています。

### ペットの長寿のためのアドバイス

ペットが提供する非常に多くの健康支援、豊かな生活、そして無限の愛情と引き換えに、その家族はペットがますます長くて健康的な生活を送ることができるように適切な世話をする必要性を認識しなくてはなりません。

いくつかの重要な点：

1. 健康的でバランスの取れた食事
2. 適切な運動
3. 歯科治療獣医検査、口腔衛生製品の使用、チューーイースティック、おもちゃ
4. 知的刺激
5. 獣医のアドバイスに従い、定期的な健康診断を計画
6. 安全管理…ペットから有毒物質を遠ざける等々
7. ほか

### ペットフードと健康との関係

栄養はペットの健康に欠かせないものです。不均衡な食事と過剰な食事がいくつかの病気の発症に大きく影響することを考えると、逆に健康でバランスの取れた食事は病気を予防する最も効果的な方法だといえることができます。

一般のペットフードは栄養バランスが取れています。Fediafのガイドラインに集約されたペットに必要な栄養



素を示す栄養基準は、一流の国際機関によって定義された仕様に従って（年齢、品種、サイズ、ライフスタイルなどに基づく）随時更新されます（ヨーロッパペットフード産業連盟）。さらに、イタリアで生産され流通しているペットフードは、保健省の動物飼料の公式管理のための国家計画（PNAА）によって安全が保証されています。過去3年間で、合計801のサンプルで発見された不適合は4サンプルだけでした。

## イタリアのペットマーケット

最新の調査によると、ペットフードの普及率はイタリアでは77%です。2017年には、イタリアの犬用および猫用ペットフード市場の総売上は、57万3,940トンで、2.4%増。売上額は20億5100万ユーロに達しました。これは前年比3.8%の増加です。2014年～2017年の間に、市場の年平均成長率は、売上額で3.6%増、数量では1.6%増。



1. 量販チャンネルは、犬用および猫用ペットフード市場の総売上高の55.9%（10億14730万ユーロ）、販売量では74.4%（42万7,256トン）を占めた。2017年も市場は成長を続け、金額は2%増、数量は1.5%増でした。

2. ペットショップチェーンは、全数量の8.2%、全売上高の12.7%、合計2億6,990万ユーロ）を占めた。は2桁成長を続け、金額は17.8%増、17.1%増。

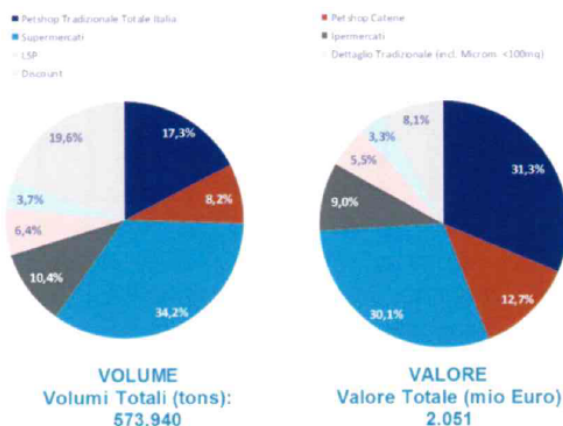
3. ペットショップ（約5,013店舗）は、販売量の17.3%（9万9,572トン）のみをカバー、金額は31.3%を占めた（6億4,250万ユーロ）。3年連続で、チャンネルは売上高の伸びを示し続けています（+2.1%）。販売数量も回復を見せており、+0.5%の成長を記録しています。

キャットフードは、犬猫フード市場の52.7%を占め、合計10億8200万ユーロ（2016年比3%増）となりました。販売量では、キャットフードは25万6,327トンになり、これは市場全体の44.7%に相当します。

ドッグフードは、犬猫フード市場の47.3%を占め、約

9億6,900万ユーロに相当します。ドッグフード分野では、ドライドッグフードが総売上高の52.4%を占め、ウェットドッグフードが33.6%、スナックが13.9%です。

2017年には、ドッグフードおよびキャットフードのすべての主要セグメント（ウェット、ドライ、スナック、おやつ）で金額が増加しました。特に、機能的なスナックやおやつ（口腔衛生を好むなどの機能的な目的のためのスナックや、ガムスティックなど）は、引き続き好調に推移しています（売上高の7%増）。最高の販売実績を示したチャンネルは、ペットフードチェーンの分野であり、ここでは特に猫のスナックの売り上げが12.7%伸びています。犬のスナックは18.7%増加しました。



犬猫以外のペットフード市場は、これまでと同様に、大型スーパーマーケット、スーパーマーケット、ミニマーケットの3つの売り場（100～399平方メートル）での購入に基づいて分析されたものであるが、2.8%減でした。

大型小売チャンネル（スーパーマーケット、スーパーマーケット、およびミニマーケット）のペット用品市場（衛生用品、玩具、引きひも、首輪、ベッド、食器、木箱、鳥かご、水槽、カメ用ケース、その他）については、2017年の販売数量は安定していますが、売上高はわずかに2%減少、合計7,200万ユーロでした。

ペット用衛生用品（シャンプー、ブラシ、消臭剤、ペットケアとグルーミングに関連するすべてのもの）の分野は、2016年と比較して15%増。値上げで成長を続けました。おもちゃ、ノミ&ダニの治療の売上高はわずかな減少を示した。猫用トイレ砂は、2017年0.4%の増加。売上高は6,800万ユーロでした。

資料提供：Zoomark International

